

# 1 かわぐちグリーン・エネルギー戦略とは

東日本大震災と福島第一原発の過酷事故

- エネルギーの安定供給体制の脆弱性
- 原子力発電所の安全確保
- 燃料コストの上昇、電気代の上昇
- 再生可能エネルギーによる電力の固定価格買取制度
- 持続可能なエネルギー政策の構築 等



家庭や事業所における節電意識  
太陽光発電や蓄電設備の設置  
地球温暖化対策の推進



地域におけるエネルギーの自立分散化、エネルギー需給の最適化を図る



かわぐちグリーン・エネルギー戦略（平成25年度～29年度）

- 電力不足や電力コストの上昇等のエネルギーリスクへの対応
- 持続可能な市民生活、事業活動
- 「低炭素都市かわぐち」の実現

持続可能な市民活力  
+  
エコエネルギー  
=グリーン・エネルギー

## 2 戦略の柱

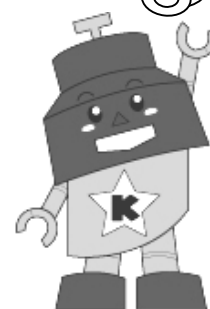
○再生可能エネルギー利用の推進

○省エネルギーの推進

○持続可能な市民生活・事業活動

○次世代自動車の普及促進

○地球温暖化の防止（温室効果ガスの削減）



### 戦略展開の視点

- 公共施設の新設・改修にあたっては、再生可能エネルギー利用設備及び省エネルギー型設備の導入を基本とします
- 民間資金、補助制度の活用やリース方式を前提として、設備の導入に係るイニシャルコストを削減します
- 新電力（PPS）との電力受給契約によるランニングコストも考慮する等、エネルギートータルコストの削減に努めます
- 再生可能エネルギーについては、防災中枢拠点・地区防災拠点となっている施設における利用を検討し、これ以外の施設においても導入を図ることで、地域全体の災害時におけるエネルギーリスクを低減します

### 3 戦略目標と主要な施策

#### (1)再生可能エネルギー利用の推進

再生可能エネルギーによる発電量1,500万kWhを増量！

新たに約4,300世帯分の年間消費電力を生み出します！

- ①戸建て住宅に太陽光発電設備の設置を促進（支援件数を新規に3,000件）
- ②事業所向けに再生可能エネルギー利用設備の導入を促進
- ③小中学校等に太陽光発電設備を設置
- ④小水力発電設備の導入について調査・研究
- ⑤廃棄物発電の効率アップ
- ⑥コージェネレーション設備の導入
- ⑦FIT（固定価格買取制度）を契機にした発電事業の研究
- ⑧地中熱や排熱等の都市部における再生可能エネルギー、燃料電池等の新技術の活用を検討

#### (2)省エネルギーの推進

建物や設備のエコ改修により省エネ化を推進！

電力使用量の20%削減（2010年度比）を実現します！

- ①商店街の街路灯や道路照明灯をLED照明に改修
- ②事業所向けに省エネルギー型設備の導入促進
- ③公共施設の照明をLEDに更新、エコ改修
- ④ICTを活用して市役所のエネルギー使用の「見える化」
- ⑤継続して節電に取り組む「エコライフ」の実践

#### (3)次世代自動車の普及促進

- ①EV・PHV充電設備の設置を促進
- ②公用車に次世代自動車を導入
- ③カーシェアリング事業の普及
- ④サイクルシェア事業の推進

#### (4)エコファクトリー事業

事業者が共同して再生可能エネルギー利用設備を設置するなど、先導的・象徴的な事業については、国や埼玉県とともに支援します。

#### (5)新庁舎、新市立高校、（仮称）赤山歴史自然公園および（仮称）川口市火葬施設の エコ建設

本市が計画する「新庁舎」「新市立高校」「（仮称）赤山歴史自然公園」および「（仮称）川口市火葬施設」の4つの建設プロジェクトの推進にあたっては、再生可能エネルギー利用設備の導入、省エネルギー型設備の活用を基本として、環境負荷の少ない先端的なエコ施設とします。